

国語総合（近現代文学史、近代俳句）学習指導案

1. 本校の特色・生徒の状況

本校定時制の課程は、各学年とも十名程度の単一学級、在籍生徒数44名の小規模校である。授業時間が晩であるが、昨今では、いわゆる勤労学生はほとんどいない。現在通う生徒の多くは義務教育課程において不登校傾向にあたり学習面で大きなつまづきがあったりしたため、学び直しを目的として本校に通っている。概ね落ち着いた態度で高校生活を営んでおり、安全で安心な学び舎が提供できている。

2. 学習指導における課題

義務教育課程における学びが不十分なこと、教科・科目を問わず基礎・基本を重視した学習指導をこころがけているが、家庭や地域における社会体験や生活経験も乏しいことから、物事を想像したり、事象を思考・判断したりすることが容易にできない。しかし、苦手意識が強いながらも、前向きな姿勢で学習活動に取り組む生徒が多いため、教科・科目ごとに生徒実態に即した学びの支援方法を日々模索し、指導にあたっている。

3. 国語科における利用報告（実践例）

国語科においては、主に短詩形文学作品を扱う際に、情景を思い浮かべるための補助資料として県立図書館資料を活用している。具体的には以下のとおりである。

(1) 単元名 詩歌との出会い

(2) 県立図書館資料を活用した学習活動（当該部分のみ列挙した）

時配	学習活動	県立図書館資料活用方法 ◎：教員による支援 ★：生徒が活用
（ 5 分 ）	<p style="text-align: center;">修辞法に注目して、描かれている情景を思い浮かべながら鑑賞しよう。</p> <p>不来方のお城の草に寝ころびて 空に吸われし 十五の心 ○作者が「寝ころびて」いる場所・作者自身の体勢を正確にとらえる ○作者の目に映るものととらえる。</p>	◎盛岡城(城址公園)の写真を提示する。
（ 1 0 分 ）	<p style="text-align: center;">句切れの意図を考えた上で、作者の思いを読みとろう。</p> <p>むくむくと春の綿雲ふえてゆき桃咲き梅散り 椿狂へり ○「<u>桃咲き梅散り椿狂へり</u>」の表現効果を考える。（ペア活動） ●まず、連用形で継がれていく言葉聞き、聴覚効果を考える（読み手と聞き手を交替し2回行う） ●次に、音読を聞くと同時に「桃」「梅」「椿」がたくさん咲く様子を目に映す。（交替し2回行う）</p>	◎各ペアに桃・梅・椿の大判写真を用意する。 ◎本は両手で持ち、ページは丁寧に繰るように注意を促す。 ★音読に合わせて、写真資料を順次提示する。

(8分)	表現上の工夫点に着眼して俳句を解釈しよう。	
(10分)	<p>啄木鳥や落葉をいそぐ牧の人々</p> <p>○作者の所在、目に映る光景をとらえる。</p> <p>○「啄木鳥」「落葉」をどのように認識したか、考察する。</p>	<p>◎作者の視点にできるだけたち撮影された高原の落葉樹林の写真を提示する。</p> <p>◎落葉樹林の写真を提示し「啄木鳥」「落葉」の所在を把握させる。</p>
	二人の空を描く言葉に着眼し、あどけない話に込めた思いを味わおう。	
	<p>智恵子は東京に空が無いといふ、 ほんとの空が見たいといふ。 (略)</p> <p>阿多多羅山の山の上に 毎日出てゐる青い空が 智恵子のほんとの空だといふ。</p> <p>あどけない空の話である</p> <p>○「阿多多羅山の山の上に毎日出てゐる空」を想像する。</p> <p>●智恵子の出身地（現在の二本松市）と安達太良山の位置関係・距離を地図帳で確認する。</p> <p>●智恵子が郷里で毎日見ていた空を想像する。</p> <p>○「ほんとの空が見たい」という智恵子の感慨を読みとる。</p>	<p>◎各ペアに安達太良山を遠望から撮影した大判写真を用意する。</p> <p>★安達太良山を遠望から撮影した写真を鑑賞する。</p>

(3)利用に際する準備事項

- ・写真資料については、できるだけ大判・カラー刷りのものをお願いした。
- ・生徒実態に応じた授業を目指す上で、授業者側が読みを深める必要があったため、作品や作者に対する一般向け資料も併せて依頼した。

(4) 成果と課題

- 見やすいこと・場面の情景に近いこと・生徒実態に見合っていることの3点に適う資料が必要だったが、図書館連携課より多数用意していただいた結果、望ましい資料を選り抜き、活用することができた。作品場面や資料の大きさ・色については、言葉ではうまく伝えきれないため、数多くの資料を用意していただいたことで、実際に書庫を訪れたかのように授業者が資料を手にとり、授業の見通しがたてやすくなった。
- 公立図書館にあまり馴染みがない生徒が多い本校では、県立図書館の資料を実際に手にとって活用する機会そのものが有意義であった。
- ▲学校にも情報機器がかなり普及してきたため、県立図書館においてもデジタル資料・視聴覚資料についても種類をさらに豊富にそろえていただけると、児童・生徒の学びを支援する手立てとして、学校図書館支援サービスがより有効になると思われる。